

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 循環器疾患診療実態調査(JROAD)のデータベースと二次調査に基づく致死性心室性不整脈患者の診断・治療・予後に関する研究 』

研究機関名 東邦大学医療センター 大森 病院

研究責任者 循環器内 科 職位・氏名 助教・和田遼

【試料・情報の利用目的】

取得した試料・情報は 全国規模のデータで、本研究が対象とする、Brugada 症候群を含めた致死性心室性不整脈あるいは院外心停止にて入院した患者の抽出 ことを目的とした研究に利用します。

この研究で得られる成果は、詳細な臨床データを収集し、治療効果の評価・長期予後等の解析 につながります。

【他機関への提供】

収集した試料・情報は解析・管理のため国立循環器病研究センターに提供します。

【研究に用いられる試料・情報】

試料: 血液、生理検査、画像検査 等

情報: 病歴、診療の治療歴、副作用等の発生状況 等

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

【試料・情報の利用または提供を開始する予定日】

2023 年 8 月より利用を開始します。

【試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

東邦大学医療センター大森病院 病院長 瓜田 純久

【試料・情報の取得方法】

対象者: 2013 年 1 月～2022 年 12 月までに東邦大学医療センター 大森 病院

循環器内 科において、Brugada 症候群を含めた致死性不整脈と診断された方

方 法: 診療録よりデータの抽出 をします。

【研究組織】

代表施設名: 東邦大学医療センター大森病院 研究代表者:

役職: 和田遼

【利用する者の範囲】

国立循環器病センター心臓血管内科 相庭 武司

【試料・情報の管理について責任を有する者の名称】

東邦大学医療センター大森病院

本研究に関してご質問のある方、試料や情報を研究に利用することを承諾されない方は、2023年12月31日までに(過去に採取した既存試料を利用する場合)下記へご連絡下さい。申し出のあった方の試料・情報は、利用や他の研究機関への提供を行いません。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】 東邦大学医療センター 大森 病院 循環器内 科

職位・氏名 助教・和田遼

電話 037624151 内線 77349